

トーストや肉用「はちみつ」8種

秋田屋本店 一般向け新商品

プロポリス配合のアメも

養蜂・食品製造の秋田屋本店(岐阜市加納富士町、中村正社長)は、一般消費者向け自社商品事業を強化する。同社のインターネット通信販売限定の用途ごとに風味が異なる独自の「はちみつ」や、スーパードラッグストア向けには「はちみつ」を使ったキャンディーを相次いで投入し、販売拡大につなげる。

(高橋友基)

風味が異なる「はちみつ」は「はちみつDAY S」の名称で発売する。主に20〜40代の女性をターゲットに商品化。レモン風味のヨーグルト専用はちみつ、国産バター入りのトースト

専用のほか、塩こうじが入って肉が柔らかくなる肉専用、ヘーゼルナッツ入りのコーヒー用はちみつなどの変わり種も含めて用途ごとに8種類を用意した。

色分けしたパッケージデザインとし、見た目のかわいらしさを演出。会員制交流サイト(SNS)「インスタグラム」に写真を投稿する際の「インスタ映え」を狙った。約100袋入りで価格は1個691円(税込み)。一方、キャンディーは名称を「鼻ポリス」とし、免疫力を高めるといつミツバチの抗菌



秋田屋本店が発売した「はちみつDAY S」と「鼻ポリス」=岐阜市加納富士町

ぎふ 経済

物質プロポリスや花粉のビーポーレン、乳酸

菌を配合。同社のキャンディーでは初の店頭販売商品で、ネット通販でも購入できる。価格は1袋74袋入りで324円(同)。同社は、2015年から一般消費者向け自社商品の販売を本格化している。今回の商品投入で軌道に乗せたい考えで、同商品の20年8月期売上高を5億円に伸ばす。